

令和２年度 第２回教育委員会定例会

議 決 事 項

件 名	提案理由	審議の状況	採決の次第
報告第14号 令和２年度垂水市一般会計補正予算（第１号）案についての市長への意見申出について	令和２年度垂水市一般会計補正予算（第１号）案の作成について、教育長の臨時代理により差し支えない旨回答したこと、及びその内容について報告するものである。	特記事項なし	
報告第15号 垂水市奨学資金奨学生選考委員の委嘱について	垂水市奨学資金奨学生選考委員の委嘱について、教育長の臨時代理により決定したこと、及びその内容について報告するものである。 委嘱期間：令和２年４月１日から令和４年３月３１日まで。	特記事項なし	
報告第16号 垂水市文化財保護審議会委員の任命について	垂水市文化財保護審議会委員の任命について、教育長の臨時代理により決定したこと、及びその内容について報告するものである。 任期：令和２年４月１日から令和５年３月３１日まで。	特記事項なし	
議案第９号 令和２年度垂水市奨学資金奨学生の決定について	奨学生選考委員会の答申を受けて奨学生の決定をしようとするものである。		承 認

日時、場所及び出席者

日時及び場所	出席者	
令和2年5月8日（金）	教 育 長 坂 元 裕 人	教育総務課長 鹿 屋 勉
午後2時00分	教 育 委 員 田 原 正 人	学校教育課長 今 井 誠
↓		
午後3時10分	教 育 委 員 葛 迫 幸 平	社会教育課長 紺 屋 昭 男
第2研修室	教 育 委 員 田之上 厚美	国体推進課長 米 田 昭 嗣
	教 育 委 員 福 里 由 加	

会 議 要 旨

1 開 会

定刻、定足数に達しており、令和2年度第2回教育委員会定例会を開会した。
議案第9号は、非公開審議とする旨、教育長から発議があり全会一致で議決された。

2 令和2年度第1回定例会会議録の承認

承認

3 議 事

報告第14号 令和2年度垂水市一般会計補正予算（第1号）案についての市長への
意見申出について

報告第15号 垂水市奨学資金奨学生選考委員の委嘱について

報告第16号 垂水市文化財保護審議会委員の任命について

議案第9号 令和2年度垂水市奨学資金奨学生の決定について

4 その他

5 委員並びに教育長及び課長報告

6 閉 会

議 事 内 容 等

3 議 事	
	報告第 14 号 令和 2 年度垂水市一般会計補正予算（第 1 号）案についての市長への意見申出について
教育総務課長 社会教育課長	補正予算案の作成について、教育長の臨時代理により差し支えない旨回答したことを報告するとともに、その内容について所管ごとに説明。
田原委員	非接触型体温計というのは、額に当てて図るピストル型のタイプのものか。
教育総務課長	そうである。
田原委員	これは公民館にも配置するのか。
社会教育課長	各公民館に 1 台ずつ配置する予定としているが、なかなか品物が入手できない状況である。アルコール消毒液や次亜塩素酸消毒液についても入荷がいつになるかわからない状況となっている。
教育長	体温計は、全体でどのくらいの数になるのか。
社会教育課長	公民館から体育施設まで 20 台程度である。
教育総務課長	学校に配置する台数については、資料がないため正確に申し上げられないが、各学校の児童生徒数、教員等の数に応じて配置する予定としている。
教育長	幼稚園や学童保育では、非接触型体温計は備えてあるのか。
福里委員	非接触型ではなく耳で測定するタイプである。
田之上委員	学童では、職員の勤務先のもので対応している状況である。ただ、非接触型は高めに出ることがあるので通常型で測りなおしたり、家庭での測定をお願いするなど複合的に対応している。
教育長	今回の補正予算で整備する物品が、子どもたちや市民を守るために有効的に活用されることを願っている。
	報告第 15 号 垂水市奨学資金奨学生選考委員の委嘱について
学校教育課長	垂水市奨学資金奨学生選考委員の委嘱について、教育長の臨時代理により決定したことを報告するとともに、その内容を説明。 (質疑なし)

社会教育課長	報告第 16 号 垂水市文化財保護審議会委員の任命について 垂水市文化財保護審議会委員の任命について、教育長の臨時代理により決定したことを報告するとともに、その内容について説明。
教育長	委員については、地区のバランスを取っているのか。
社会教育課長	配慮しているところである。
	議案第 9 号 令和 2 年度垂水市奨学資金奨学生の決定について (非公開)
4 その他	なし
5 委員並びに教育長及び課長報告	委員並びに教育長及び課長報告
教育長	委員並びに教育長及び課長報告に入る。
田原委員	「地域における新型コロナの影響について」 いつもであれば、帰省客や観光客でにぎわうゴールデンウィークも、外出規制や県外からの帰省の自粛、また、県を超えての移動の制限が呼びかけられていたことで、地域でも全く人通りが途絶え、小中学生の姿を見かけなかった。 コロナの影響で、公民館で一番大事な会、例年約 100 名の参加をもって開催する「総会」を本年度は中止とした。代わりに 25 名の役員だけで総務部会（理事会）を開催し、いろいろなことを承認していただいて、かろうじて新年度をスタートすることができた。 聞くところによると、水之上小学校でも PTA 総会を中止して資料を配付し、新会長等を書面承認してもらったようである。 昨日から学校が再開され、子どもたちの元気な声がやっと地域に戻ってきてほっとしているところであり、このまま何もなく平常に戻ることを心から希望している。
葛迫委員	「第 7 回和田英作・和田香苗記念絵画コンクールについて」 3 月の定例会で、「第 7 回和田英作・和田香苗記念絵画コンクール」の開催要項についての報告をしたが、開催要項案、出品申込書案ができたので、

田之上委員	4月14日（火）に打合せを実施しプランに目を通した。 コンクールのジュニア部門については、出品者が市内の園児・小中学生だけということなので開催が可能と思っているが、一般部門については全国からの出品者が含まれるためコンクールの開催がどうなるのか危ぶまれるところである。 今年予定されている様々な催事は、新型コロナウイルス感染拡大の影響がどこまで続くかということによって変わってくると思う。 「生涯学習について」 市民館のロビーには、4月当初から昨年度の生涯学習で学んだ作品が展示してあるが、今年の生涯学習はどうなるのかと心配しているところである。 スポーツチャンバラやフットサルなど、人と人との接触が多いスポーツ関係の講座はすでに中止になったと聞いている。また、昨年は生涯学習全体で200名を超える受講生であったが、今年は100名を超えたくらいの受講生で例年の半分ほどに減少している。 新型コロナウイルス感染拡大の影響がこういった学び舎にも及んでおり、学ぶ機会を奪われてしまっていると感じるところである。 子どもたちの学校教育、学校現場は今どうなっているのか。3月から4月にかけて子どもたちがどのような形で勉強していたのか。鹿児島県では5月から学校での授業が再開されるが学校現場は大変であろうと思っているところである。 鹿児島国体においても同じように感染拡大の影響を感じる。教育委員会においては、全員の力で全力を尽くして、今後に向けて頑張ってもらいたい。 「和田英作 パリ留学 120 年記念展」について思うこと 今日ここに来る途中、市民館ロビーに瀬角龍平氏のプロデュースによる「和田英作 パリ留学 120 年記念展」が展示されていた。 その中にパリのグレー村滞在時の出来事を綴った「愚劣（グレー）日記」があり、「ホテル シュビィヨン」の名が出てくるが、このホテルは私もパリ留学のときに滞在したことがあり、自分の思い出と重ね合わせて興味深く見せてもらった。 翁は「夕暮れ（グレー）」という油絵を描いており、鹿児島市立美術館に収蔵されているので、その写真を「愚劣（グレー）日記」と一緒に展示してくれるように瀬角氏にお願いしたところである。 「愚劣（グレー）日記」は当時の雑誌「ホトトギス」に掲載されていたもので、非常に面白いので皆さんにも読んでもらいたい。 「学校再開について思うこと」 4月に、学校応援団活動のあいさつ運動で朝の中学校へ行く機会があり、初々しい制服姿の新一年生が重たい鞆を背負って登校してくる姿を見ることができた。一年生も立派な中学生としての生活を始めているのだなと思い嬉しかったが、その後、10日程で再び休校措置となり、子どもたちと保
-------	--

護者が有意義な日々を過ごしてくれているようにと願ったところだ。

先日 7 日から再び登校が始まり、小学生、中学生、それに高校生が元気に登校する姿を町の中で見かけるようになった。皆、楽しそうで元気よく話をしたりして心が弾んでいるように見受けられ、その風景に地域の方々も元気をもらっているのではと思う。

今のところ本県では爆発的な感染はないが、引き続き緊張感を持った対応が必要である。気候も急に暑くなり、マスクの着用を嫌がる子どもたちが出てくるであろう。朝食もしっかりとらないと体調を崩したりするので、これからの体調管理、衛生面などへの対応が気になる。現場の先生方はしばらく大変だろうが気持ちを引き締めて取り組んでいただきたい。

また、私事ではあるが、来週からの小学校の読み聞かせについて学校の了解をもらったので、自分のできることに少しでも関わっていきたいと考えている。

「学校休業の影響、最近の幼稚園の子どもたちについて」

新学期を迎えて喜んで登校していたのも束の間、コロナウィルス感染拡大防止のために子どもたちは再び休校となった。休校になって二人とも前学期のプリントをたくさん持ち帰ってきた。

プリントつづりの表紙には大きく「復習のチャンス！！自分に負けるな」と書いてあり、先生達の熱い気持ちが込められたメッセージで、子どもも私もとても元気が出た。

休業の間は学習の遅れはもちろんだが、子どもたちにとっては友達と会えないこと、友達と一緒に学校生活が送れないことが一番寂しいことのようにうだ。

一学期の行事は、5年生の宿泊学習や1、2年生のふれあい給食など、ほとんどが中止又は延期となり、垂小の PTA 総会も書面決議での対応となった。子どもたちの命を守るためには仕方がないことなので親も協力していきたい。

幼稚園では4月の初めに家庭訪問を行った。担任たちからの報告を聞くと、年長児の保護者から「自発的な発言、行動ができない。自分の思いどおりにならないと癇癪をおこして手に負えない。爪かみが見られる。姿勢保持ができなかったり、人見知りがあったりして小学校就学に向けて心配だ。」などの声があったようだ。

保護者の方々が心配していることは園でも同様に感じられることで、保育中簡単な会話でも、すぐに分からない、忘れたと言って言葉のキャッチボールができない子がここ2、3年多いように感じる。反対に、質問をしても答えとは関係のないことを延々と話す子もいる。聞かなければならないときに聞かず、勝手な時に自分の思いを言ったり聞いたりする子も多い。

困っていることがあってもなかなか言えない子どもの親に聞くと、プライドが高いから聞けない、失敗が怖いから行動しないということをよく聞く。やることが大事と子どもたちには話をしているがなかなかうまくいかない。最近、長年の保育経験が生かせないように感じる。この子にとってどんな方法がいいんだろうと悩むことも多々あり、勉強不足を感じる。

学校教育課長	昨日から久しぶりに学校へ行った息子と娘は、少し疲れた様子だったが、いつも以上に学校のことを話してくれた。息子が「楽しかった。」と、とても嬉しそうに話してくれる姿を見て私も嬉しかった。 一つ質問がある。学校に持っていく子どもの荷物が重たくて、計ったらランドセルだけで7kg あった。学校に置いておけないのかとも思う。学校ごとに扱いが違うのか、どうにかならないか。 ランドセルの重さのことは全国的な問題で、これまでも大きな課題として議論されており状況は認識している。改善していかなければならないが、学校での置き場所の確保や盗難防止の問題などがあるので、学校の実情などを調査してこれから整理していきたい。
教育長	「新型コロナウイルスによる休業の影響について」 4月30日の臨時登校日の日に学校訪問を行い、子どもたちの様子を見るとともに各学校の状況把握に努めた。 校長は一様に違和感を感じており、「子どもたちがおかしい。」「子どもたちの様子が変わってきた。」などと話し、新型コロナによる休業の影響が子どもたちに現れているようである。活発な子が静かになったり、控えめな子がハイテンションになっているなど休業期間中における家庭での状況、コミュニケーションの在り方に原因があると考えられ、休業期間が長期化すればするほど元の状況を取り戻すのに時間がかかるのではと心配する声を各校長から聞いたところである。 「新聞投稿「子どもが待ちわびた学校再開」について」 今朝の新聞記事に「子どもが待ちわびた学校再開」のタイトルで、子どもを持つ母親の投稿が掲載されていた。 「学校再開を一番喜んだのは子どもたちだ。勉強ができる、友達と話ができる、給食が食べられる、先生に会える。学校に行けることが普通であるということが実はいかに幸せなことか。本当に感謝しかない。 先生たちは遅れた分を取り戻そうと必死かもしれないが、焦っているのは親も子どもも同じだ。だからこそ、皆があせらずゆっくりと一人一人の顔と心の様子を見ながら、少しずつリズムを取り戻してほしいと心から願う。勉強も大切だが、先生たちには子どもたちが休校の間に体験したことや感じたことをたくさん聞いてあげてほしい。一番頑張ったのは子どもたちなのだから。」 まさしくそのとおりである。思いを聞いてあげる、そして返してあげる、担任と子どもたちとのキャッチボールの大切さを改めて感じたところだ。 委員の皆さんからも、学力面、体力面及び生活面での不安な点について多くの意見をいただいた。近々、校長会を開き課題について協議をしたいと考えている。内容を整理して子どもたちがいい形で学校生活が送れるように取り計らっていきたい。

教育総務課長 学校教育課長 社会教育課長 国体推進課長 6 閉 会	「垂水市独自の新型コロナウイルス支援策について」 昨日、市長の記者会見があり、新型コロナウイルス対策に係る垂水市独自の支援策が発表された。 教育委員会関係では、給食費・副食費3か月分（6～8月）の無償化、たるたる奨学生の追加募集、垂水の子どもたち応援ブック事業を実施して、子どもたちと保護者を支援していく。 4課長から4月14日から5月8日までの主な行事等の実施状況について報告するとともに、6月8日までの行事予定についてお知らせした。 併せて、教育総務課長から「学校施設等整備計画」の策定、学校教育課長から「たるたる奨学金」の追加募集、社会教育課長から市民講座の申し込み状況と「垂水の子どもたち応援ブック事業」、国体推進課長から鹿児島国体開催に係る状況（綱引、スポチャンの大会を含む）について、それぞれ報告を行った。
---	---